

平成 28 年度文化庁メディア芸術アーカイブ推進支援事業

日本漫画家協会所蔵本および資料の
調査整理・データベース化事業

報告書

公益社団法人 日本漫画家協会

平成 29 年 3 月

目次

第1章 公益社団法人日本漫画家協会所蔵の資料をデータベース化する意義（幸森軍也）

第2章 協会所蔵本データベース化（池川佳宏）

1. 所蔵する本のデータ採取のための仕様作成
 - (1) データ採取対象資料
 - (2) 棚番号設定
 - (3) 資料分類
 - (4) 漫画家協会内資料ID
 - (5) 資料データ採取
 - (6) 登録データの校正（クロスチェック）
2. 所蔵する書籍資料のデータベース入力作業
3. 入力されたデータのクロスチェック

第3章 協会所蔵本整理包装作業仕様作成（小田切博）

1. 資料管理情報の抽出
2. シール印刷
3. 包装作業

第4章 協会所蔵ポスターのスキャン・データベース化（池川佳宏）

1. ポスターデータ採取のための仕様作成
 - (1) ポスター種別
 - (2) 仕分け
 - (3) ポスターファイル名仕様
2. データ入力
3. ポスタースキャン
4. ポスター画像サムネイル作成

第5章 協会所蔵写真および協会が借りた写真の調査（椎名ゆかり）

1. 漫画家協会所有の写真の全体像の把握
 - (1) ネガフィルム調査
 - (A) アルバム内容
 - (B) 全体の概算
 - (C) 業者にスキャンを依頼した時に見積もり検討
 - (D) その他

- (2) 紙焼き写真の調査
- 2. 今年度調査する写真の選択範囲
- 3. 今年度調査する写真の選定要件の検討
- 4. データベース化のための仕様作成
 - (1) 写真スキャン
 - (2) 写真仕分け
 - (3) 聞き取り事前調査
 - (4) インタビューイ一選定
 - (5) 取材資料作成
 - (6) 質問事項作成
 - (7) 聞き取り調査
 - (8) データ更新
 - (9) 聞き取り調査報告書作成
- 5. 対象写真のデータ化
- 6. 写真内容調査のための聞き取りとその仕様作成。
 - (1) .調査実施
 - (2) 対象写真資料内容
 - (3) 写真撮影者
 - (4) 写真資料
 - (5) 聞き取りの際に用意するもの
 - (6) 聞き取りのテストケース
- 7. 借りた写真の返却
- 8. 「漫画 100 年」展について

第 6 章 協会の発行する会報の調査 (小田切博)

- 1. 複本状態調査
- 2. 会報内容調査
- 3. 会報基礎資料作成

第 7 章 作成したデータベースの公開について (幸森軍也)

第 8 章 今後の展望の課題 (小田切博)

特別寄稿 「漫画 100 年」展について

半世紀前の【漫画 100 年展資料】再発見 (牧野圭一)

付録

執筆者略歴

第1章 公益社団法人日本漫画家協会所蔵の資料をデータベース化する意義

幸森軍也

公益社団法人日本漫画家協会では平成27年度のアーカイブ推進支援事業において蔵書のデータベース作成を進めた。協会には協会員から寄贈された貴重な書籍もあり、どのようなものが所蔵されているかを知る手がかりを作るためである。

平成28年度はこれの続き2817冊（昨年度からの累計6254冊）の調査とデータベース化、袋詰めを推進して保管状態の保存に努めた。また昨年度にも手がけたマンガ博覧会等のポスターのデジタル化、データベース化を完了。マンガに関する展覧会も近年は増えてきたものの、過去約50年にわたってポスターやチラシを保存している機関は協会以外ない。ただ完了としたところで、これらは現在も増え続けているため、いずれ更新をしなければならない。大規模な展覧会だけでなく個展についても協会にはチラシやDMが保管されており、これらも来年度以降に順を追ってデジタル化していく。このことでマンガ展覧会の歴史の基礎資料ができよう。

協会に保存されているポスターの最初期のものは昭和43年に開催された「漫画100年」展である。この展覧会は協会が主催し、手塚治虫ややなせ・たかしら協会員が全面的に協力し、記録、写真、資料なども一定程度保管されている。しかしながら、約50年前の資料を見たところで現在では当時の状況が完璧に判明するものでもない。関係者中、故人も増えた。このため撮影された展覧会会場の写真や被写体の同定をしていく必要があり、協会に保存されている写真、協会員から借り受けた写真をデジタル化して、その写真がいつ、誰によって、何を撮影したものなのか、また被写体は誰なのかを調査していく。被写体に関しては関係者、有識者に聞き取り調査をしなければならず、またそれぞれのポスターやチラシ、その他資料との関連付けも行わなければならない。

さいたま市立漫画会館は設立当初から協会と関連しており、上記「漫画100年」展の原画や日本漫画家協会賞の応募作原画も寄託されており、漫画会館の調査、聞き取りも行った。漫画会館では丁寧に整理されデータベース化された資料がとても上質な状態で保管されていた。

これ以外にも協会がかかわった展覧会以外のイベントの際に撮影された各種写真もデジタル化、同定作業、データベース化を進めていく。写真にはポジ、ネガ、紙焼きの3種類があり、それぞれどのようにデジタル化し、保管すべきかを検討した。紙焼きは民生用のスキャナーでデジタル化が可能ではあるものの、ポジ、ネガについては業者に依頼してのデジタル化が有効と考えられる。

またこのような写真をデータベース化するための仕様は確立されていない。マンガ単行本やアニメなどは文化庁のメディア芸術データベースにおいて、ある程度は収録されている。しかし、写真家協会などの関係団体をもみても記録写真を総合的にデータベース化して

いる団体、機関はない。写真のデータベース仕様については後述する。ちなみに写真の著者は撮影者である。ただし公開が前提のイベント系以外では被写体の肖像権が保護されていると解すべきだろう。

ポスターやチラシのデジタル化には著作権者による複製権許諾、ネットでの公開についても公衆送信権、送信可能化権の許諾が必要となる。これら許諾は協会の Web サイトや会報で告知した。ただし、美術の著作物は権利制限規定 45 条により、展示自体については許諾は不要である。

平成 29 年度には懸案の日本漫画家協会協会報のデジタル化、データベース化も実現を目指す。

現在の協会報は制作をデジタルで行っているため、内容やデータもすぐにでも利用できるものの、189 号以前はアナログであり、これをデジタル化していきたい。

協会報の内容についてのありようも時代によって変化があり、それぞれ特に目次らしい欄は存在せず、執筆者や内容についての調査、吟味も必要となる。また漫画家協会の会報との性格上、イラスト、マンガ、写真も掲載されており、その種別の区分もしなければならない。

協会は約 50 年の歴史があり、執筆者も移り変わり、内容を一覧できるようなデータベースはマンガの歴史を論じるうえでも貴重な資料と考えられる。

第2章 協会所蔵本データベース化

池川佳宏

昨年度にひきつづき、日本漫画家協会地下書庫に所蔵されている書籍資料のデータ入力作業を行った。昨年度の調査手順を下記に再掲する。

1. 所蔵する本のデータ採取のための仕様作成

(1) データ採取対象資料

本年度の事業に関しては、漫画家協会倉庫内書籍資料のうち海外出版物を除いたものを調査対象とする。

(2) 棚番号設定

整理分類作業の都合上、協会書庫内の書棚に対し任意のアルファベットで付番した。以下に2015年12月時点での日本漫画家協会書庫内の状況を示す。

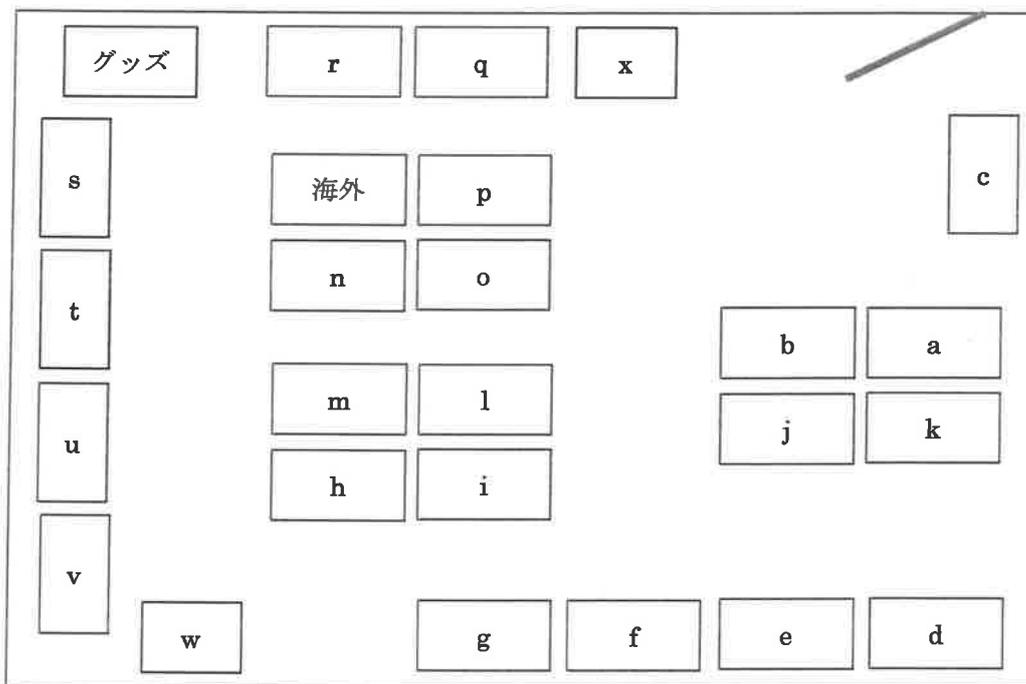


図1 【2015年12月時漫画家協会書庫内状況】

* 青枠が本年度新規追加された棚

* 現状の大まかな配置分類

a:絵本 b:図録、資料 c:雑誌 d~o:マンガ単行本 p:研究、資料

q,r:文庫 s,t:雑多 u,v:カートゥーン系全般 w:同人誌

(3) 資料分類

本事業においてはメディア芸術データベース「マンガ」部門の分類に従い書庫内資料を

A「単行本」

書籍として発売されたマンガ単行本 (ISBN のある雑誌別冊やムック、コンビニコミック、海外版を含む)、関連書籍、研究書、評論、アンソロジーなど

B「雑誌」

マンガ雑誌、一般雑誌、新聞、雑誌付録の冊子、ミニマガジン、学会誌、など

*ただし版元表示などの関係で「その他の冊子」に分類される場合あり

C「その他の冊子」

同人誌、ミニマガジン、学会誌、カタログ、図録など

の3種に分類する。

(4) 漫画家協会内資料ID

本事業においては個々の書庫内資料に対し以下のような管理IDを付番する。

<漫画家協会内資料ID>

a 00001A (棚番+書庫内通番数字5桁+資料分類)

*このIDは書籍等のモノと1対1対応で設定されたものであり、同一書籍が複数冊収蔵されている場合はそれぞれの書籍に対してIDが設定されている。

*モノ自体の固有性は5桁の通番数字で保障されるため、モノの配架位置が移動する場合は、棚番号を付け替えることで対応する。たとえば資料「a00001A」の配架場所がa棚からd棚に変更になった場合はIDが「d00001A」に変更される。

(5) 資料データ採取

個別資料にIDを付番し、メディア芸術データベースの入力項目にあわせたExcel形式の表にデータ採取作業をおこなう。

入力に当たってはメディア芸術データベース内の登録データを参照することとし、暫定的な処理として割り振ったIDを各資料に付箋で貼付することでデータとモノとの紐付けをおこない、データはネット上で共有、確認できるようにした。

不明点、問題点等は基本的にはメディア芸術データベースの基準に合わせ、それでも曖昧なものに関しては適宜基準を定めた。

以下に具体的なデータ入力項目を例示する。

登録番号 漫画家協会内資料ID
マンガ単行本名 書籍タイトル
マンガ単行本名ヨミ 書籍タイトルのカタカナヨミ
マンガ単行本名追記 サブタイトル等
マンガ単行本名追記ヨミ サブタイトル等のカタカナヨミ
マンガ単行本別版表示 「愛蔵版」、「完全版」などのバージョン表記
巻 「第1巻」など書籍上の巻数表記
巻ソート 巻数数字表記
責任表示 作者名など
初版発行年(西暦)
初版発行月
初版発行日
単行本レーベル(サブレーベル) 叢書名、レーベル名
単行本レーベルヨミ 叢書名、レーベル名のカタカナヨミ
レーベル番号 叢書、レーベルにおける通番
出版者名 出版社名
出版地 出版された場所
ページ数発行年(西暦)
縦の長さ_横の長さ サイズ表記
ISBN
言語区分
レーティング 「成年コミック」などのレーティング表示
マンガ単行本備考 発行形態などの情報
版数
刷数
発行年(西暦)
発行月
発行日
価格
版型
館独自の備考

なお、ここに例示した入力項目は基本的にA「単行本」に対応したものである。このため、B「雑誌」、C「その他の冊子」に関しては異なる場合があり、「単行本」に関してもここでは割愛した項目がある。

より詳細な入力項目に関してはメディア芸術データベースを参照されたい。

メディア芸術データベース マンガ <https://mediaarts-db.jp/mg/>

(6) 登録データの校正（クロスチェック）

登録したデータを確認し、表記の揺れ、誤字、脱字などをチェックする。

2. 所蔵する書籍資料のデータベース入力作業

入力をスタートする前に、今年度に新たに参加した担当者のために、入力作業監督の池川が改めてメディア芸術データベースの入力規則のレクチャーを行った。昨年度同様に「単行本」「その他の冊子」「雑誌巻号」の3種のExcelシートそれぞれに分けて登録を行い、作業監督のもとでデータ入力を進めた。

今年度も日本漫画家協会のログインアカウントが発行されておらず、メディア芸術データベースを直接使用することができなかった。昨年度受領したExcelでの単行本データシートから既存データのコピーなどを行って便宜をはかったが、ISBNのないものには対応できないため、効率は悪いままとなっている。しかし昨年度に比べて一般的な単行本が多く、その他の冊子や雑誌巻号は少ないため判断に困るケースは少なかった。昨年度 a 棚から開始した入力作業は n 棚まで進み、今年度のデータ入力件数は「単行本」が 2749 冊、「その他の冊子」が 63 冊、「雑誌巻号」が 5 冊となった。

3. 入力されたデータのクロスチェック

また、昨年度から今年度までに入力された書誌データについて、幸森、小田切が合計 3204 件のクロスチェックを行った。誤字・脱字や表記の不統一な点など、クロスチェックの結果指摘された点について、池川が資料を確認し適宜訂正した。

書庫全体としては、累計 6254 冊のデータ入力が終了した。協会からの一般的な単行本の寄贈書のうち未入力のもので残り少なくなり、自費出版物、海外の出版物などの入力がやや困難な棚が残っている。これらの作業には新たに作業のための調査が必要と考えられる。

第3章 協会蔵本整理包装作業仕様作成

小田切博

本事業において昨年度よりおこなっている倉庫内書籍資料調査に伴い、一時的な処理として添付した付箋による資料管理用IDと書籍との紐づけの固定化と書籍資料自体の保護のため、今年度より大判の資料についてはOPP素材の透明な袋を使用したバッグ詰め、新書版単行本等については同素材の透明なカバーかけをおこない、バッグまたはカバーの上から管理情報を印刷したシールを貼る作業を行うこととした。

このため、本年度の本事業においては本作業のために作業項目、購入備品の検討をおこない、合議の末以下のような作業をおこなっている。

1. 資料管理情報の抽出

ラッピング媒体（バッグまたはカバー）に貼付するシールに出力するための資料管理情報項目を抽出する。

抽出元は昨年度より本事業において作成しているExcel形式のリストを用い、リスト上の項目から以下に例示する項目をシール出力用に抽出する。

- 番号 00001 *5ケタの通番
- 単行本/雑誌/冊子 A *単行本 (A)、雑誌 (B)、その他の冊子 (C)
- マンガ単行本名 新勉強まんが
- マンガ単行本名追記 あ〜さ
- 巻 1 *雑誌の場合月号など
- 責任表示 秋玲 2 *作者名
- 出版者名 毎日新聞社
- 単行本レーベル (サブレーベル) *「ジャンプコミックス」といったレーベル表示

2. シール印刷

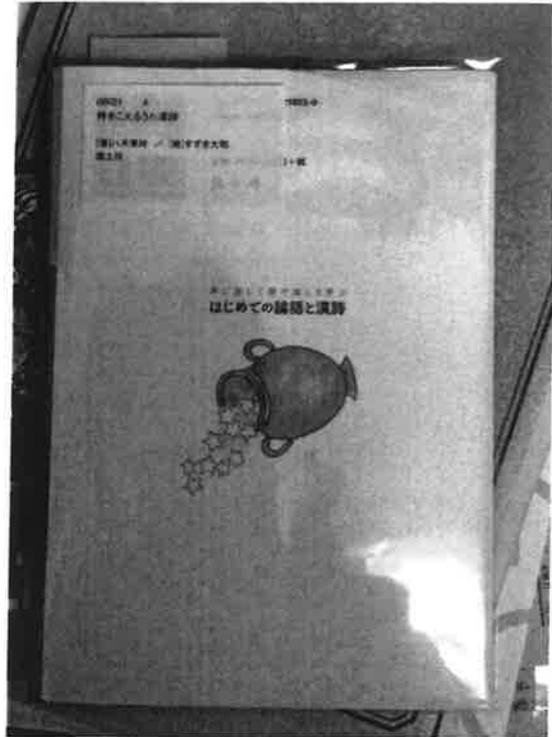
ファイルメーカーを用いてシール出力用のデータを作成し、資料管理用のシールを印刷する。

3. 包装作業

倉庫内の資料を取り出し貼付されていた付箋を外し、大判の資料に関してはバッグに詰め、サイズの小さなものに関してはカバーをかける。

バッグ、またはシールの上から印刷したシールを貼付し、バッグに関しては棚の大きさに応じてバッグ上部の余った部分をカットする。

包装された書籍資料の例



第4章 協会所蔵ポスターのスキヤン・データベース化

池川佳宏

昨年度にひきつづき、日本漫画家協会に所蔵されているポスター資料のスキヤンとポスターのデータ入力作業を行った。昨年度の調査手順を下記に再掲する。外注業者もひきつづき(株)寿限無を選定した。

1. ポスターデータ採取のための仕様作成

(1) ポスター種別

ポスターの性質が多岐にわたるためデータ管理用に以下のポスター分類符号を設定した。

- 1 展示企画（展示企画そのもののポスター）
- 2 施設告知（たとえば「池袋サンシャインシティ」という施設のポスター）
- 3 展示以外のイベント（マンガ家が関係する地域イベントなどの告知用ポスター）
- 4 カレンダー（一枚もののカレンダー）
- 5 映画ポスター（映画宣伝用ポスター）
- 6 公募ポスター（なんらかの公募告知用のポスター）
- 7 アートポスター（純粋なイラストレーションのみで文字要素なし）
- 8 その他（上記以外）

(2) 仕分け

保存されたポスターは同一のものが複数収蔵されている場合があるため、スキヤン対象特定のため、スキヤン作業前に重複分を選別する仕分け作業を行う。

(3) ポスターファイル名仕様

データ管理用にポスターのスキヤンファイル名をユニークなものとするため、以下のような仕様を設定した。

＜ポスターファイル名仕様＞

ポスター分類符号 上記 1～8

開催年月日 開催年(西暦)4桁(不明な場合「XXXX」)+イベント開始日4桁(「0101」など開始日を記入、不明な場合は「XXXX」)

バージョン A～Z(一種類しかない場合「A」を付与)

イベント名等文字要素 イベント名+開催地(「漫画100年展西武」など。イベント名、施設名がない場合はそれぞれのみ、まったく文字要素がない場合はポスター分類名を記載。複数イベント名の記載があるものはもっとも扱いの大きなものをピックアップ

する)

例：119680102A 漫画 100 年展西武

(1：展示企画／開催年月日：19680102～／バージョン：A／イベント名：漫画 100 年展／開催地：西武)

ポスターのスキャン作業については、スキャン作業とファイル名の付与のためのポスター調査を請け負った(株)寿限無にヒアリングを行い、実作業について下記の報告を受けた。

2. データ入力

昨年度にひきつづき、ポスターのデータ採取と入力を行った。昨年度からの未作業の残りの筒について、複数枚保管されている状態から、スキャン用の 1 枚を分離して仕様どおり展示企画やイベントの名称や日時を記録した。2000 年代以降のポスターが大半を占めたため、Web 上に情報が残っているケースも多く、主旨が不明なポスターは少なかった。

3. ポスタースキャン

スキャンについても昨年度同様に、等倍サイズ 300pdi の tiff 形式で作成した。今年度は、直筆の絵画や寄せ書き、同梱されていたチラシもスキャン対象とした。B0 サイズのポスターについては、そのままのサイズではスキャンが行えないため、分割してのスキャンとした。その結果、「B2 より大きいポスター」で 12 枚、「B2 より小さいポスター」で 226 枚、「チラシ (表裏あり)」で 30 枚のスキャン画像を作成した。

4. ポスター画像サムネイル作成

昨年度から今年度にかけてスキャンした画像 533 枚について、ファイルサイズの重い保存用データではなく、Web で閲覧できる軽量のデータとサムネイルの 2 種を作成して画像が活用できるようにした。軽量画像データはヨコ 800pix×タテ 600pix に入るサイズにあわせ、サムネイルはタテ 128pix×ヨコ 128pix に入るサイズにあわせて作成した。

第5章 日本漫画家協会が所蔵する写真、または協会が借りた写真の調査

椎名ゆかり

今年度から新たに、日本漫画家協会が所有する写真または、協会が借りた写真を対象に、写真の内容について調査し、データベース化する作業を開始した。

1. 漫画家協会所有の写真の全体像の把握

漫画家協会内で所有している写真の紙焼きとネガフィルムの総量と内容を把握する調査を行った。

(1) ネガフィルム調査 (2016年8月26日)

(A) アルバム内容

ネガフィルムが保管されているケース2箱を地下倉庫から2階事務所に運びアルバムの内容と整理状態を確認した。

以下にアルバムごとの内容を示す。

注1：アルバムに付した番号は仮称、本文書上の便宜的なものであり、特に実物と紐付けはない。

注2：数量も厳密なものではない。基本的に6コマ×x枚の形式で記述する。元のフィルム一本はおそらく24か36コマだと思われる。一枚6コマで数えているが、一本のフィルムが切り取り方で7枚になったりしている。

- ▶ アルバム1 (インデックスなし) フィルム9本
 - 1974年日本漫画家協会総会 6×13 (フィルム2本)
 - 1975年日本漫画家協会総会 6×19 (フィルム3本)
 - 1976年日本漫画家協会総会 6×20 (フィルム4本)
- ▶ アルバム2 (インデックスなし) フィルム5本
 - 1977年日本漫画家協会総会 6×27 (フィルム5本)
- ▶ アルバム3 地方開催下見 (年代不明、インデックスなし) フィルム7本
 - 大阪 6×4 (フィルム1本)
 - 広島 6×10 (フィルム2本)
 - 名古屋 6×4 (フィルム1本)
 - 上野 6×16 (フィルム3本)
- ▶ アルバム4 (インデックスなし) フィルム25本
 - マンガ博覧会'81 6×170 (フィルム25本、4会場分)

- ▶ アルバム 5 (インデックスなし、今回調査の対象外と思われる)
 - '80~'85 ポスター・カレンダー写真校正用ネガ
 - *通常の大きさのフィルムではない
- ▶ アルバム 6 (インデックスあり) フィルム 19 本
 - 1978 年選考会 6×5 (フィルム 1 本)
 - 1978 年総会 6×6 (フィルム 1 本)
 - 町田市立博物館明治漫画諷刺画展 6×5 (フィルム 1 本)
 - 2001 年総会 6×26 (フィルム 4 本)
 - S58? 6×7 (詳細不明、フィルム 1 本)
 - 杉浦先生 6×2 (フィルム 1 本)
 - 第 34 回漫画集団忘年会 6×12 (フィルム 2 本)
 - 漫画集団忘年会箱根 6×7 (フィルム 1 本)
 - J.C.フォレスト夕食会 6×5 (フィルム 1 本)
 - '86 ポーランド芸術公園総裁サンデスキー 6×5 (フィルム 1 本)
 - '863 越 4 丁目 4 コマ 6×5 (フィルム 1 本)
 - アングレーム・カペラムッシュ・セルジヤン in Tokyo 6×3 (フィルム 1 本)
 - 大宮世界の漫画展 6×5 (フィルム 1 本)
 - 展覧会 (?) 川崎 (?) 6×5 (フィルム 1 本)
 - '84? 6×7 (フィルム 1 本)
- ▶ アルバム 7 (インデックスあり) フィルム 49 本
 - 1979.3.4. 近藤日出造葬儀 6×7 (フィルム 1 本)
 - 81 協会漫画選考 6×7 (フィルム 1 本)
 - 83.3/22 新宿京王プラザホテル 6×4 (フィルム 1 本)
 - 83.3/22 ニカウさん 6×4 (フィルム 1 本)
 - 84.4/5 6×4 (フィルム 1 本)
 - 85.10 中国漫画家ディズニーランド 6×46 (フィルム 11 本)
 - 86.10/22 栗田純彦さんありがとう!の会 6×8 (フィルム 2 本)
 - 1985 年 10 月 中国漫画家代表団歓迎レセプション 6×22 (フィルム 4 本)
 - 1985 年 10/22 日帝国ホテル(株) 日本漫画家協会設立披露宴 6×25
(フィルム 5 本)
 - 86 総会 6×18 (フィルム 3 本)
 - 86 事務所 6×12 (フィルム 2 本)
 - 86.9 ポーランド漫画展 6×15 (フィルム 3 本)
 - 1987? 総会 6×10 (フィルム 2 本)
 - 1988 漫画賞選考 6×12 (フィルム 12 本)
- ▶ アルバム 8 (インデックスあり) フィルム 21 本

- さいとうたかを 6×12 (フィルム 2本)
 マンガ・アート展覧会 6×2 (フィルム 1本)
 山形郡山 6×4 (フィルム 1本)
 山形郡山 6×5 (フィルム 1本)
 山形? 6×6 (フィルム 1本)
 来日夜ヘンリアフリカ文化庁 (2) 6×4 (フィルム 1本)
 88.3/1 88.4/7 88.4/15 (横山邸) 6×4 (フィルム 1本)
 ブッシュマン 6×4 (フィルム 1本)
 S61.1 シェフラー (1986年) 6×4 (フィルム 1本)
 S58.10? 11? (1983年) 6×6 (フィルム 1本)
 S58.10~11 漫画博覧会'83 6×9 (フィルム 2本)
 86 中国へえびせん 6×4 (フィルム 1本)
 1985.1. 横山邸 6×4 (フィルム 1本)
 1979 横山隆一珍コレクション展 6×6 (フィルム 2本)
 1993 しおじり漫画フェスティバル 6×12 (フィルム 2本)
 横浜漫画フェスティバル 6×6 (フィルム 2本)
- ▶ アルバム 9 (インデックスあり) フィルム 23本
 総会 1 6×7 (フィルム 1本)
 総会 No3 6×6 (フィルム 1本)
 総会 No4 6×6 (フィルム 1本)
 第 5 回年次総会 6×25 (フィルム 4本)
 不明 6×7 (フィルム 1本) +紙焼き
 82年 総会協会漫画賞 6×21 (フィルム 3本)
 S46 (71年) 総会 4月 24日 6×14 (フィルム 2本)
 S48年 (1973) 総会 4月 28日新宿センターホール 6×35 (フィルム 5本)
 +紙焼き
 82年 協会漫画賞選考 6×7 (フィルム 1本)
 84年 第 20 回総会 6×10 (フィルム 2本)
 85年 第 14 回漫画賞選考会 6×5 (フィルム 1本)
 86年 漫画賞選考会 6×5 (フィルム 1本)
- ▶ アルバム 10 (インデックスあり) フィルム 22本
 豊島区まんがコンペ 93 6×7 (フィルム 1本)
 第 19 回日本漫画家協会賞選考会 1990年 6×6 (フィルム 1本)
 横浜博覧会 壁画など 1989年 6×14 (フィルム 2本)
 佐川美代太郎氏 出版としみじみ祝う会 1988.4.22 6×32 (フィルム 6本)
 加藤芳郎漫画家生活 40 周年まっぴら君連載 1 万回 88.2.26 6×39

- (フィルム7本)
- 馬場のぼるさんおめでとう会 1996年2.29 6×6 (フィルム1本)
- 第25回選考会 1996.4.25 6×6 (フィルム1本)
- 代々木アニメーション学院講師派遣 1989.7.7 6×4 (フィルム1本)
- 不明 6×3 (フィルム1本)
- 牧野圭一出版記念会 '88.1.24 6×2 (フィルム1本)
- ▶ アルバム 11 (インデックスあり) フィルム4本
- 田川水泡氏告别式 1989年12月21日 6×7 (フィルム1本)
- 代々木アニメーション学院講師派遣 (さいとう、いがらし、石ノ森) 1989年
6×7 (フィルム1本)
- 漫協法人化 1985年9月7日 6×5 (フィルム1本)
- 紅雀ビル事務所開きパーティ 1986年11月21日 6×7 (フィルム1本)
- ▶ アルバム 12 (インデックスあり) フィルム19本
- 86 世界まんが博 6×12 (フィルム2本)
- 世界マンガ博サヨナラパーティー 6×5 (フィルム2本)
- マンガ博覧会 82 (オスカー) 6×5 (フィルム1本)
- 漫ぱく 82 新・鳥獣戯画作成 6×5 (フィルム1本)
- まんが博 83 夢トンネル貫通 東京⇄新潟一日タイムトラベル 6×5
(フィルム1本)
- マンガ博覧会 83 第2回マンガオスカー賞授賞式 6×7 (フィルム1本)
- マンガ博 82 6×14 (フィルム2本)
- マンガ博 82 新潟 6×21 (フィルム3本)
- まんぱく 82 (大阪?) 6×5 (フィルム1本)
- まんが博覧会 81 6×5 (フィルム1本)
- まん博 82 6×5 (フィルム1本)
- まん博 83 6×15 (フィルム3本)
- ▶ アルバム 13 (インデックスあり) フィルム18本
- 90.5・15 第19回選考会 6×4 (フィルム1本)
- 91.10.6 絵学塚 / 10.11 名暗500会合 6×6 (フィルム1本)
- 91.10.5 第5回ヨコハマスポーツイラスト 6×6 (フィルム1本)
- 92 しおじりまんが街道 6×6 (フィルム1本)
- 93 第22回選考会 6×4 (フィルム1本)
- 94.4.25 手塚記念館オープニング 6×6 (フィルム1本)
- 94 宝塚 選考・選考会 6×6 (フィルム1本)
- 95 豊島区青少年まんがコンペティション他 6×3 (フィルム1本)
- 96.10.15 日韓漫画交流会 6×4 (フィルム1本)

- 96.8.24 第20回アジア漫画会 6×4 (フィルム1本)
 故園山俊2氏叙勲／としまえん 展覧会 藤子・F・不2雄 6×6 (フィルム1本)
 77 文化省打ち合わせ グッドリモングショー 選考 6×7 (フィルム1本)
 97.5.7 漫画賞選考 6×7 (フィルム1本)
 90 手塚プロパーティ / 1.20 日中交流会 6×4 (フィルム1本)
 98.2 年度末総会 / 漫画賞選考 6×18 (フィルム4本)
- ▶ アルバム14 1979年? (インデックスあり) フィルム16本
 表敬訪問 (1) 6×6 (フィルム1本)
 協会表敬 (2) 朝日レセプション (1) 6×6 (フィルム1本)
 朝日レセプション (2) 6×6 (フィルム1本)
 朝日レセプション (3) 6×6 (フィルム1本)
 表敬 (3) 朝日レセプション (4) 6×6 (フィルム1本)
 文化庁 (2) 精華大 (1) 6×4 (フィルム1本)
 精華大 (2) 6×6 (フィルム1本)
 精華大 (3) 6×6 (フィルム1本)
 精華大 (4) 6×6 (フィルム1本)
 近藤家通夜 6×4 (フィルム1本)
 近藤家告別式 6×3 (フィルム1本)
 故近藤会長葬儀 6×9 (フィルム2本)
 第 回漫画家訪中国見送り 6×5 (フィルム1本)
 54.4.28 現像 葬式 (白黒) (1979) 6×5 (フィルム1本)
 不明 片山2-2 6×5 (フィルム1本)
- ▶ アルバム15 (インデックスあり) フィルム21本
 まんが博覧会81 開催記念レセプション 6×6 (フィルム1本)
 まんが博覧会81 オープン 6×6 (フィルム1本)
 まんが博覧会81 6×36 (フィルム9本)
 まんが博覧会82 6×44 (フィルム10本+ハーフサイズフィルム1本)
 まんが博覧会82 開催記念パーティー 6×6 (フィルム1本)
 まんが博覧会83 6×36 (フィルム6本)
 まんが博覧会82 記者発表 6×4 (フィルム1本)
 まんが博覧会82 オープン 6×4 (フィルム1本)
- ▶ 小袋
 (まんぱく) 新・鳥獣戯画モノクロネガ (6×9版) 6カット

(B) 全体の概算

上記のネガフィルム本数から算出した総計を以下に示す。

35 mmフィルム 257 本分

ハーフサイズフィルム 1 本分

6×9 モノクロネガ 6 カット

写真校正用カラーネガ、ランダムサイズ アルバム 1 冊

(C) 業者にスキャンを依頼した時に見積もり検討

- ▶ ネガフィルムスキャンは基本的にフィルム 1 本単位で受注される。
- ▶ フィルムサイズやスキャン後の画像クォリティーによって単価は異なるが、個人向けサービスで 35 mmフィルム 1 本 300～500 円程度
(単価 500 円として約 258 本で 129000 円)

参考：<http://film-scanner.org/>

- ▶ 富士フィルムには
法人向けサービス (<http://fujifilm.jp/business/index.html>)
がある。
- ▶ 対応フィルム規格の自由度がもっとも高いと思われるのは、コダック社がビック
カメラでおこなっている
- ▶ Kodak フォト DVD サービス
(http://www.biccamera.co.jp/shopguide/service/photo/cd_dvd_writing/kodak_photodvd/index.html)
- ▶ 選択肢としては他にフィルムスキャナの購入も考えられる。
- ➡ 検討の結果、業者には依頼しないことになった。

(D) その他

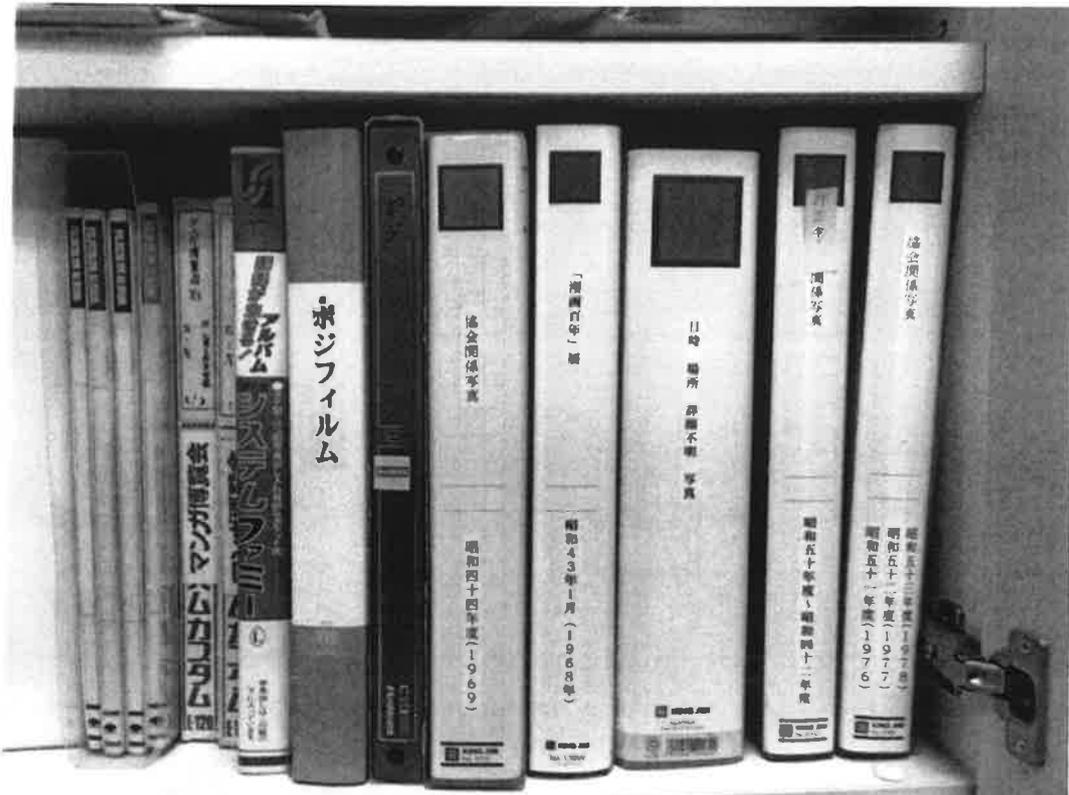
ネガ以外にも 2 階事務所などでポジフィルム、スライド、プリントがそれぞれ
ファイリングされ、保管されている。

(2) 紙焼き写真の調査 (2016年10月19日)

漫画家協会2Fキャビネット写真ファイルリスト

写真ファイルナンバリング

*撮影日時不詳のものを1とし、以下古いものから「2、3～」と付番する。



左から

- 3 協会関係写真 昭和44年度(1969)
- 2 「漫画100年」展 昭和43年1月(1968年)
- 1 日時・場所・詳細不明写真
- 4 協会関係写真 昭和50年度～昭和42年度
- 5 協会関係写真 昭和51年度(1976) 昭和52年度(1977) 昭和53年度(1978)



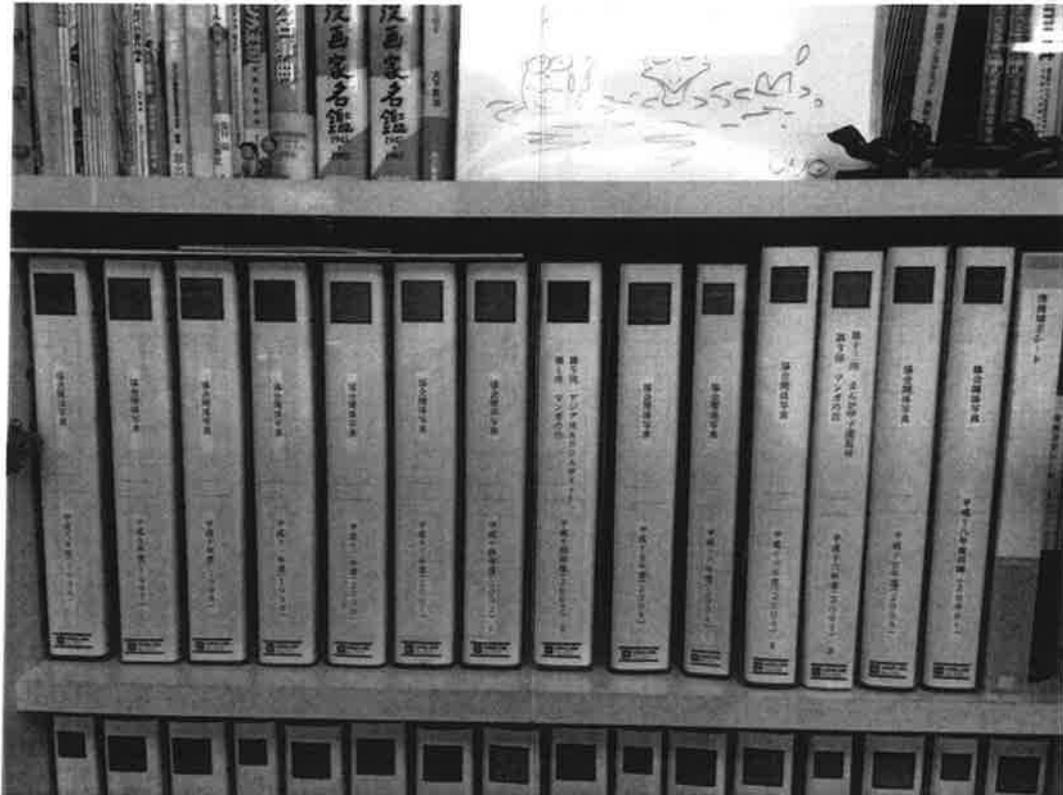
左から

- 6 協会関係写真 昭和 54 年度 (1979)
- 7 近藤日出造氏葬儀 昭和 54 年度 (1979)・協会関係写真 昭和 55 年度 (1980)
- 8 中国漫画家代表团訪日 I 昭和 55 年度 (1980)
- 9 協会関係写真 昭和 56 年度 (1981) I
- 10 協会関係写真 昭和 56 年度 (1981) II
- 11 まんぱく展示作品写真 昭和 56 年度 (1981)
- 12 '81 マンガ博覧会関係写真 昭和 56 年度 (1981) III
- 13 協会関係写真 昭和 57 年度 (1982) I
- 14 '82 マンガ博覧会関係写真 昭和 57 年度 (1982) II
- 15 '82 マンガ博覧会関係写真 昭和 57 年度 (1982) III
- 16 協会関係写真 昭和 58 年度 (1983) I
- 17 協会関係写真 昭和 58 年度 (1983) II
- 18 協会関係写真 昭和 59 年度 (1984)
- 19 協会関係写真 昭和 60 年度 (1985) I



左から

- 21 中国漫画家代表团訪日（2） 昭和 60 年度（1985） III
- 20 中国漫画家代表团訪日（1） 昭和 60 年度（1985） II
- 22 協会関係写真 昭和 61 年度（1986） I
- 24 協会関係写真 昭和 61 年度（1986） III
- 23 協会関係写真 昭和 61 年度（1986） II
- 25 協会関係写真 昭和 62 年度（1987）
- 26 協会関係写真 昭和 63 年度（1988） I
- 27 英仏の漫画家と懇談会写真 昭和 63 年度（1988） II
- 28 協会関係写真 平成元年度（1989） I
- 29 協会関係写真 平成元年度（1989） II
- 30 協会関係写真 平成 2 年度（1990）
- 31 協会関係写真 平成 3 年度（1991）
- 32 協会関係写真 平成 4 年度（1992）
- 33 協会関係写真 平成 5 年度（1993）
- 34 協会関係写真 平成 6 年度（1994）
- 35 協会関係写真 平成 7 年度（1995）



左から

- 36 協会関係写真 平成 8 年度 (1996)
- 37 協会関係写真 平成 9 年度 (1997)
- 38 協会関係写真 平成 10 年度 (1998)
- 39 協会関係写真 平成 11 年度 (1999)
- 40 協会関係写真 平成 12 年度 (2000)
- 41 協会関係写真 平成 13 年度 (2001)
- 42 協会関係写真 平成 14 年度 (2002) I
- 43 第 1 回マンガの日・第 5 回アジア MANGA サミット 平成 14 年度 (2002) II
- 44 協会関係写真 平成 15 年度 (2003)
- 45 協会関係写真 平成 16 年度 (2004) I
- 46 協会関係写真 平成 16 年度 (2004) II
- 47 第 3 回マンガの日・第 13 回まんが甲子園取材 平成 16 年度 (2004) III
- 48 協会関係写真 平成 17 年度 (2005)
- 49 教会関係者新 平成 18 年度以降 (2006~)

2. 今年度調査する写真の選択範囲

- ・ 今年度は全写真を端からスキャンせず、一部の写真についてすべての行程を行うことで、今後のテストケースとした。
- ・ 今年度は「紙焼き」を対象にして調査・データ化し、「ポジフィルム」は次年度以降に行う。

3. 今年度調査する写真の選定要件の検討

- ・ 公共性が高い
- ・ 撮影された時期が古く、年が経つにつれて益々調査が困難になると思われる
- ・ 昨年度調査したポスター等と関連性が高く、紐づけできる

上記の点から検討の上、以下 2 種類

(A) 漫画家協会所有の「漫画 100 年」展の写真 (152 枚)

他にも「漫画家協会第 6 回総会 (1969 年)」も検討されたが、協会の所有する一番古い写真として「漫画 100 年」展の写真を選んだ。

(B) 故改田昌直氏の写真 (113 枚)

協会が既に借りていて今年度中に返却しなければならない写真があるため、テストケースとして意味も含め調査対象写真として選んだ。

4. データベース化のための仕様作成

調査対象写真それぞれに ID 番号を付与し調査項目を決める仕様を作成した。

本年度の写真資料調査では最終的な目標として関係者への写真資料についての聞き取り調査をおこなう前提で、写真資料の電子化およびそこからのデータ採取、採取情報の補完のための聞き取り調査までの手順を検討し、試験的に写真スキャン、データ採取、聞き取り調査のシミュレートをおこない、試案として以下のような手順をまとめた。

(1) 写真スキャン

* 写真資料をスキャン、保存フォルダに保存し、可能な範囲でデータ採取をおこなう

A 協会所蔵資料

* 写真種別コード

SK : 協会所蔵紙焼き

SP : 協会所蔵ポジ

SN : 協会所蔵ネガ

A-1 保存フォルダ作成

- ・保存フォルダ名指定ルール

SK-XXX-アルバム名

写真種別コード (SK・SP・SN のいずれか) -アルバム番号 (3ケタ通番) -アルバム名 (アルバム背表紙記述名)

*フォルダの作成はアルバム (写真を収めた物理的ファイル) 1冊毎に行う。

A-2 写真スキャン

- ・スキャン精度 600dpi

- ・ファイルフォーマット tiff

- ・カラーフォーマット RGB

- ・ファイル名指定ルール

SK-XXX-XXXX-YYYYMMDD

写真種別コード (SK・SP・SN のいずれか) -アルバム番号 (3ケタ通番) -プリント番号 (4ケタ通番) -撮影年月日 (不明の場合 xxxxxxxx)

A-3 資料情報採取

*保存フォルダ内に「ReadMe-保存フォルダ名」という txt ファイルを作成し、以下の情報を記入する。

- ・分類 協会所蔵
- ・ファイル番号
- ・ファイル名
- ・保管場所
- ・スキャン年月日
- ・情報採取履歴
- ・備考

A-4 写真情報採取

*保存フォルダ内に「保存フォルダ名」の xls ファイルを作成し、以下に示す

- ・写真情報
- ・被写体情報
- ・撮影者情報

を写真一枚ごとにわかる範囲で採取する。

(写真情報)

- ・カラー／モノクロ
- ・プリントサイズ（横＊縦）
- ・フィルム種別（フィルム自体のサイズ、ポラロイド他）
- ・現像関連データ
- ・撮影年月日
- ・スキャン年月日
- ・調査履歴

*そのプリントに対して行った調査の履歴、聞き取りなど調査ごとの履歴。年月日＋記述者、調査者名

- ・備考
- *アルバムに付箋などで記載情報がある場合はここに記述する。

（被写体情報）

- ・イベント
- ・イベント種別（展示・総会・旅行・冠婚葬祭・来賓・その他）
- ・イベント名
- ・主催
- ・会場
- ・人数
- ・人名
- ・プログラム
- ・作品名
- ・人物
- ・人数
- ・人名
- ・撮影場所
- ・作品
- ・作者名
- ・作品名
- ・その他
- ・場所

（撮影者情報）

- ・撮影者名
- ・プロフィール情報
- ・使用機材

B 関係者借り受け資料

*写真種別コード

RK：関係者借り受け紙焼き

RP：関係者借り受けポジ

RN：関係者所蔵ネガ

B-0 借り受け先選定

B-1 写真借り受け

*関係者から写真資料を借り受ける。借り受けた際に受け取り時の状態、借り受け日時などを記録する。

B-2 保存フォルダ作成

・保存フォルダ名指定ルール

RK-XXX-関係者名 - YYYYMMDD

写真種別コード (RK・RP・RN のいずれか) - 借り受け番号 (3ケタ通番) - 関係者名 - 借り受け年月日 *フォルダの作成は当該日時に借り受けた写真すべてを (複数のアルバムであっても) 単一フォルダとする。逆に同一の関係者から借り受けた資料であっても借り受け日時が異なるものは別フォルダとする。

B-3 写真スキャン

・スキャン精度 600dpi

・ファイルフォーマット tiff

・カラーフォーマット RGB

・ファイル名指定ルール

RK-XXX-XXXX-YYYYMMDD

写真種別コード (RK・RP・RN のいずれか) -- 借り受け番号 (3ケタ通番) - プリント番号 (4ケタ通番) - 撮影年月日 (不明の場合 xxxxxxxx)

B-4 資料情報採取

*保存フォルダ内に「ReadMe-保存フォルダ名」という txt ファイルを作成し、以下の情報を記入する。

・分類 関係者借り受け

・関係者名

・プロフィール

- ・漫画家協会との関係
- ・借り受け元人名
- ・借り受け年月日
- ・返却年月日
- ・分量
 - ・アルバム冊数
 - ・プリント枚数
- ・スキャン年月日
- ・情報採取履歴
- ・備考

B-5 写真情報採取

*保存フォルダ内に「保存フォルダ名」のxlsファイルを作成し、項目A-4で記述した

- ・写真情報
- ・被写体情報
- ・撮影者情報

をわかる範囲で採取する

B-6 状態記録

*必要に応じ、付箋の有無、アルバムの外観などの情報を写真撮影するなどのかたちで記録する

B-7 写真資料返却

*関係者に写真資料を返却する

(2) 写真仕分け

2-1: 同一イベント、内容の写真資料をまとめる

2-2: まとまりごとに写真資料、およびアルバム等に記載された情報から調査対象とする写真資料集合の内容を設定する

例: 「漫画100年」、「第X回日本漫画家協会総会」など

2-3: 設定した写真資料集合の内容ごとに調査目的を設定する

例: 人物特定、イベント内容調査

(3) 聞き取り事前調査

3-1: イベント開催時期などから関連情報が記載されていると思われる協会会報を調

査する

- ・ イベント概要
- ・ 出席者
- ・ 関連作品
- ・ 開催日時
- ・ 場所
- ・ 人数

等、関連すると思われる情報が記載されていた場合は該当箇所をコピーする

3-2: インターネット検索を用いてイベント、人物についての情報を収集する

3-3: 必要に応じ雑誌、新聞等のメディアを調査する

(4) インタビューー選定

*2-3 で設定した調査目的に応じて取材先を選定する

(5) 取材資料作成

*4 で選定した取材先に対し取材する際に提示する資料を作成する

5-1: 3の事前調査で判明した情報を資料としてまとめる

5-2: 2-3 で設定した調査目的、3の事前調査で判明した情報から写真資料を見直し、関連すると思われる情報を採取、資料としてまとめる

5-3: 前項で採取した情報につき必要と思われる場合は追加で調査し、資料としてまとめる

5-4: 関連する写真資料（同一人物が写っている、同一のサブイベントを写しているなど）をまとめ、ファイル名が分かるかたちで写真資料をプリントアウトする

(6) 質問事項作成

6-1: 2-3 で設定した調査目的に応じて4で選定した取材先への質問事項を作成する

6-2: データ採取用の調査票（別紙「日本漫画家協会聞き取り調査票」3照）を作成する

(7) 聞き取り調査

7-1: 調査実施内容を記録する

- ・ 実施年月日
- ・ 実施時間
- ・ 実施場所

- ・ 調査対象者
- ・ 調査対象者プロフィール
- ・ 調査担当者
- ・ 対象写真資料
- ・ 対象写真資料内容
- ・ 記録媒体
- ・ 備考

7-2: 記録媒体、会場をセッティングする

7-3: 趣旨説明、資料提示

7-4: 聞き取り調査実施、調査票（別紙「日本漫画家協会聞き取り調査票」参照）記入

7-5: 調査実施時の写真記録をおこなう

(8) データ更新

*1で採取した写真情報採取ファイルに前項で判明した情報を追加する

(9) 聞き取り調査報告書作成

*7でおこなった聞き取り調査について報告書を作成する

- ・ インタビュー概要
- ・ 調査状況
- ・ 担当者所感
- ・ 反省・改善点

5. 対象写真のデータ化

- ・ 上記の仕様にもあるように、1枚ずつ対象写真をスキャンして、既に決めた仕様に従ってID番号を付けて保存を行った。
- ・ 3日間の作業で、「漫画100年」展（152枚）と改田昌直氏にお借りした写真（113枚）の基礎データを入力しながらスキャンを完了。（1時間あたりのスキャン&データ入力消化数は20枚強）。
- ・ スキャンする際、写真を傷めないように白手袋を着用。

6. 写真内容調査のための聞き取りとその仕様作成

(1) 調査実施

*聞き取り調査そのものに関する項目、1回の調査につき以下の項目について記録する。

- 実施年月日
例：2016年12月8日
- 実施場所
例：日本漫画家協会2階事務所
- 調査対象者
例：幸森軍也
- 調査対象者プロフィール
例：1961年生まれ。関西大学商学部卒業。作家。マンガ研究者。現在、大阪芸術大学客員教授、専修大学客員教授。著書に「そして、またひとり…」「あなたの待つ場所」(角川ホラー 文庫)「マンガ大戦争」「ゼロの肖像」(講談社)など。
- 調査担当者
例：椎名ゆかり、池川佳宏、原正人、小田切博
- 対象写真資料
*保存フォルダ名
- 対象写真資料内容
*イベント名など、複数種類の内容、イベントが含まれている場合、含まれている内容すべて。
- 記録媒体
*音声、映像記録などの種別、ファイル名等
- 備考

(2) 対象写真資料内容

*対象写真資料の内容に関する項目。1回の調査に複数の内容のものが含まれている場合があり得る。その場合、個々の内容に関して以下の項目の記録をおこなう。

例：「マンガ博覧会」と「日本漫画家協会総会」の写真が対象に含まれている場合、「マンガ博覧会」、「日本漫画家協会総会」に関してそれぞれ作成する。

- イベント名
例：漫画100年展
- 対象ファイル名
例：SK002-0001-196801**～SK002-00xx-196801**
- イベント内容
例：百貨店での一コマ、立体物などの創作物の実物展示。協会会員から作品を募集
- 開催年月日
例：1968年1月2日～1968年1月16日
- 開催場所

例：東京池袋西武デパート7階

- ・ 開場時間
例：西武デパートの営業時間に準ずると思われる
- ・ 主催
例：日本漫画家協会、読売新聞社
- ・ 企画
例：不詳、日本漫画家協会？
- ・ 運営
例：日本漫画家協会？
- ・ 広告
例：不詳
- ・ 協賛・協力・後援等
例：不詳
- ・ 料金
例：入場無料
- ・ 連絡先（電話番号、メールアドレス等）
例：不詳
- ・ HP
例：なし
- ・ 備考
例：別紙「マンガ100年展概要」参照

(3) 写真撮影者

*わかる場合は写真撮影者に関して記録する。1回の調査、同一のイベントであっても複数の撮影者がいる場合が考えられる。個別の撮影者に関して以下の項目を記録する。

- ・ 対象ファイル名
例：SK002-0001-196801**~SK002-00xx-196801**
- ・ 人名
- ・ プロフィール
- ・ 備考

(4) 写真資料

*個々の写真資料、1枚1枚に関する項目。原則的には1枚につき以下の項目を記録するが、聞き取り現場で写真の内容が重複している場合などは複数枚を一括して記録する場合もあり得る（のちにデータ化する場合は写真1枚1レコードに分ける）

- ・ 対象ファイル名
例：SK002-0001-196801**
- ・ サブイベント・プログラム名
*あればわかる範囲で記述
例：サイン会、1968年1月*日
- ・ 人数
*写真に写っている関係者の人数
- ・ 人名
*写真に写っている関係者の人名。画像内での位置関係もできるだけ記述
- ・ プロフィール情報
*写真に写っている関係者個々についてわかる範囲でプロフィール情報を記述
- ・ 作品（作者）
*写真に写っている作品とその作者について記述
- ・ キャラクター
*写真に写っているキャラクターについての情報を記述
- ・ 場所
*撮影場所について記述
- ・ 備考

(5) 聞き取りの際に用意するもの

- ・ 写真データ
- ・ 写真を見るデバイス
データ写真を手元で見る iPad 他、場合によってはプロジェクター等、聞き取り相手や聞き取り場所によって最適なものを選ぶ。
- ・ 写真を紙に印刷したもの
聞き取り時に書き込めるように用意。使い勝手の良さを見るために写真の大きさは以下の3パターンを用意する。

A4に6枚の写真を入れたもの	—	2枚
3枚	—	2枚
1枚	—	6枚
- ・ 油性ペン（複数色）
写真が印刷された紙に書き込む場合を考えて、油性のペンを複数色用意する。
- ・ 資料
聞き取りの参考になるもの。
（「漫画100年展」の場合、主催者である読売新聞の記事、漫画家協会の会報、

その他。)

- 聞き手／サポート
聞き取りをする相手以外に最低 2 人が必要
- 録音レコーダー
漫画家協会所有の iPod 等、できれば複数台使う。
(映像を撮る場合は、映像が音声録音に対して控えの位置づけとなる。)
- 虫メガネ
- 調査票
質問項目のリストを作成し、聞き取り時はなるべく写真の内容に即した話からはずれないように気をつける。
(質問項目は、昨年度寿限無作成のポスターリストの項目が参考になる。)

(6) 聞き取りのテストケース

- 12月8日(木)と22日(木)の2回に渡って幸森に対して聞き取り調査を行った。
- 実際に聞き取り行った結果、インタビュアーによる写真内容の事前調査の重要性がわかった。写真を見てわかることについては、事前にインタビュアーのほうでまとめておく必要がある。加えて、写真の内容がイベント等に関係するものの場合、漫画家協会が発行する会報内の同イベントの記述は必ず確認しておくべきである。

(A) 1回目の聞き取り調査— 「漫画 100 年」展

- 事前の会報調査から判明した今回調査テスト対象イベントである「漫画 100 年第一回日本漫画家協会展」概要に関する報告も行う。
結果として以下の問題点が指摘された。
- 事前調査として当該イベントに関連すると思われる会報を調査、確認すべき写真自体を見てわかる点は聞き取り調査を行う前に調査者サイドが写真を確認し、確認しておく。
- 一のサブイベント、関連すると思われる写真は聞き取り調査前に調査者サイドでグルーピングしておく(小田切)。

(B) 2回目の聞き取り調査— 改田昌直氏所有の写真

- 具体的に確認した写真の内容は以下の通り。
 - (1) 「漫画集団」の旅行
 - (2) 改田昌直氏が大賞を受賞した「漫画家協会賞」授賞式
 - (3) 横山隆一「文化功労者」選出お祝い会
 - (4) 「アンパンマンの勲章を観る会」

(5) その他 (不明)

- ・ 前は写真のコピー (4 枚/1 ページと 2 枚/1 ページ) を手元に置いた聞き取りを行ったが、今回はそのコピーに加えて、漫画家協会のプロジェクターを利用して内容を確認した。
- ・ 拡大した画像を複数人数で見られるため、可能であればプロジェクターがあったほうがいいが、手元のコピーも同時に必要であることがわかった。
- ・ 前回の反省点をふまえ、事前に写真を精査し、内容について会報等を使用して確認し、資料の充実を図った。
- ・ 写真調査の聞き取りにおける事前調査の重要性が再確認され、「(文献調査によって判明することも多いので) 聞き取りする対象が必要かどうかも含めて検討すべき」との意見も出た。

7. 借りた写真の返却

改田昌直氏のご子息・改田宏氏と面談

- ・ 改田宏氏がお勤めの研究社 (飯田橋) において平成 29 年 2 月 10 日 (金) に、お借りしていた写真を返却した。
- ・ お借りした写真を返却する際、借用書と照らし合わせて返却写真に間違いはないか、確認していただいた。
- ・ 改田宏氏には、以前も文化庁アーカイブ事業の申請書のコピーをお渡ししていたが、今回は幸森から口頭で簡単に事業の概要を説明し、漫画家協会が今後も本、雑誌、会報等の他に写真のアーカイブを進めていく意義についてお話した。
- ・ 事業概要説明の資料も参考と共に、スキャンした写真のサムネイル化した一覧もお渡しした。

8. 「漫画 100 年」展について

- ・ 写真調査の際に、漫画家協会の会報の記述から「漫画 100 年」展の原画のポジフィルムが保管されていることが判明した。実際に現物も地下倉庫に存在することが確認された。

「日本漫画家協会会報」(No.15、1968 年 2 月 15 号、p1

「第 1 回展のしめくり作業として、作品全体をカラーフィルムに複写して永久保存用に一括収蔵し、明治 200 年展をわれわれの後継者がたやすく開催できるばかりでなく、海外の漫画展から出品招請を受けた場合、即座に飛行機便で貸し出しに応ずることのできる態勢をもこの際整えておきたい。」

「明治から未来へ 漫画 100 年 —日本漫画家協会第 1 回展—」

■ポジフィルム（漫画家協会地下倉庫より）

6箱 356枚

A1 ～ A83

B1 ～ B33

C1 ～ C199

D1 ～ D41

■展示点数（会報15号 p3）

359点（立体はうち3点）

■出品目録（会報14号 号外）

明治 83点

大正 31点

昭和 199点

未来 42点

立体 3点

＝合計 358点

その他 モニュメント（横山隆一）1点

立体豪華巨船（柳原良平）1点

- ・ 更に会報の以下の記述により、原画が漫画会館に保存されていることが判明した。
「日本漫画家協会会報」（No. 12、1967年10月15日号、p2.
「出陳作品は展覧会終了後、大宮市の漫画会館に一括収蔵。ただし返還希望者は出品の際返送料を添えてあらかじめ申出ること。」
- ・ 上記の記載を受けて、さいたま市立漫画会館に問い合わせを行ったところ、出展作の原画が所蔵されていることが判明したため、アーカイブ事業のスタッフと、実際に作品が同展で展示された牧野圭一氏と共に確認を行った。
 - さいたま市プラザノース
漫画会館からの寄託で実際には「さいたま市プラザノース」に原画が所蔵されていた。原画の保存状態はかなり良く、漫画家協会に保存されていたポジフィルムよりも往時の色に近いだろうと思われる。
ただし、何人かの作家の作品は作者に返還されていた。
手塚治虫作品は他の展示で使用中のため、確認できなかった。
 - 東光寺
北沢楽天の墓の見学
 - さいたま市立漫画会館
漫画会館の見学



プラザノース



原画確認



漫画会館内部

第6章 協会の発行する会報の調査

小田切博

本年度の本事業においては、将来的な全バックナンバーのPDF等によるデジタルデータ化とその公開を視野に入れ、これまで協会が発行してきた会報の状態、データ化を見据えた内容の調査をおこなった。また、これにあわせて写真資料調査のための基礎資料として協会の活動と会報の発行年月日を照応した年表を作成している。

1. 複本状態調査

協会内でファイリングされているものとは別途保管されている会報バックナンバーを倉庫内で確認し、スキャン作業に用いることが可能な複本の存在を確認した。

確認バックナンバー 1～224号、別刷会報1～5号、漫協目安箱1～7号？（3のみ号数表記あり、2に当たるものが抜けていると思われる）

複本抜け会報号数 6、13、16、39、81、110、157、161、162、163、164

2. 会報内容調査

将来的な会報そのもののPDF等でのデジタルデータ化、書誌データのデータベース化を見据えて会報の内容を調査し、検索可能な記事情報レベルでのデータ化の検討をおこなった。

現時点では写真調査などの本事業での別作業での参照可能性も考慮し、メディア芸術データベースの仕様とはあえて同一のものとはせず、国会図書館およびメディア芸術データベースの登録書誌情報を参考に、記事内容の検索までを可能な構造化されたデータ型を試案として提出している。

以下に現時点での会報情報のデータ化試案を示す。

会報情報データは以下の3項目からなることとする。

1. 冊子タイトル基礎情報

*当該冊子全体の基礎的な情報、冊子タイトル毎に作成する

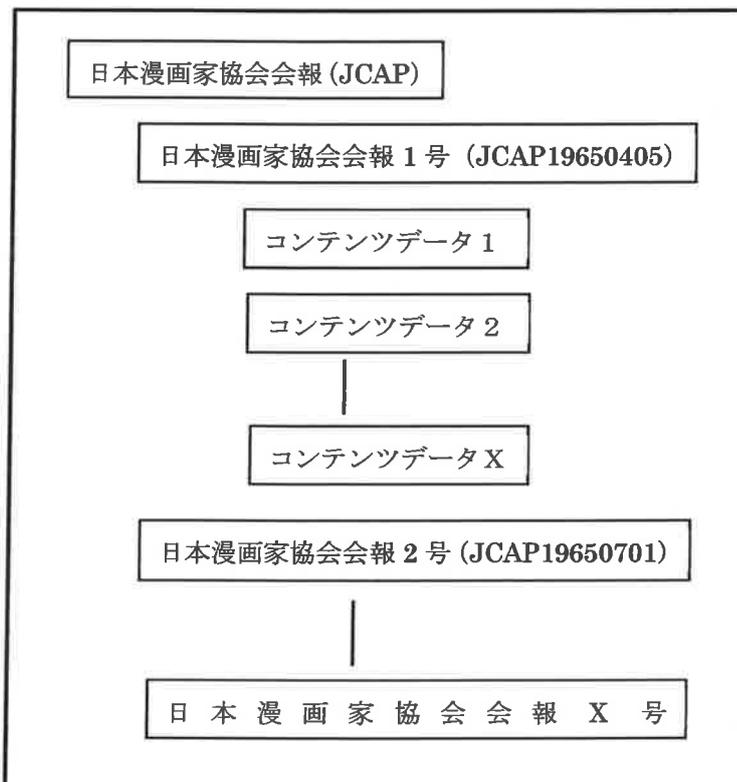
2. 冊子情報

*刊行された冊子巻号毎の情報

3. コンテンツ情報

*掲載された記事、コンテンツ個々の情報

以下にその関係を図示する。



本調査の主要調査対象は「日本漫画家協会会報」だが、調査対象には会報以外のタイトルの冊子も含まれるため、各タイトル毎に基礎情報を取得しリスト化する（冊子タイトル情報リスト）。

発行された冊子各巻号毎の情報を取得しリスト化する（冊子情報リスト）。

さらに調査対象冊子各巻号の内容を精査し、掲載コンテンツ内容について情報を取得し、これをリスト化する（コンテンツ情報リスト）。

以下に各リストにおける情報採取項目を挙げる。

なお、本会報情報データ仕様はあくまで検討用の試案であり、会報調査に関してはデータ採取手順の検討、決定まではおこなっていないが、具体的なデータ項目、採取手順の検討のため、冊子タイトル情報、冊子情報に関しては複本全冊分、コンテンツ情報に関しては複本の存在しない 6、13、16 を除く 1～24 号までの 21 冊分のデータ採取を試験的におこなっている。

冊子タイトル情報リスト

タイトル：日本漫画家協会会報

*当該冊子タイトル

会報コード：JCAP
*当該冊子に対する管理コード
出版地（国名コード）：JP
*出版地の国名コード
出版地：東京
*出版地
発行元：日本漫画家協会事務局
発行年：1965年4月～
刊行ペース：季刊
種別：その他の冊子
大きさ：
備考：

冊子情報リスト

会報コード：JCAP19650405
*当該冊子に対するタイトルごとの通番コード。管理コード+発行年月日8ケタ
タイトル：日本漫画家協会会報
*冊子のタイトル
号数：No.1
*冊子の通巻
発行年月日：1965年4月5日
*冊子の発行年月日
サブタイトル：とりあえず号
*サブタイトル（あれば）
カット：
*カット担当者（表記があれば）
写真：
*写真担当者（表記があれば）
表紙（タイトル）：
*表紙イラストタイトル（あれば）
表紙（作者）：
*表紙イラスト作者（あれば）
奥付：
*奥付情報
備考：

コンテンツ情報リスト

会報コード：JCAP00001

*タイトルごとの通番コード。掲載紙との紐づけ。

コンテンツ名（大項目）：

コンテンツ名（中項目）：

コンテンツ名（小項目）：

*掲載コンテンツ（記事、写真、図版）のタイトル、見出し。集合の範囲順に大、中、小に分けている。たとえば会報初期の投稿コラム欄「ひろば」は大項目、個別コラムのタイトルが中項目扱いとなる。

責任表示：

*掲載コンテンツの制作者（執筆者、撮影者、作者）の名前。表記のあるもののみ。

分類：

*掲載コンテンツの分類、以下に分類項目を示す

A 告知

*会員への告知記事

B ニュース

*時事的な記事

C 定期報告

*「部会」、「地方支部」などからの定期報告

D コラム

*記名による単発コラム

E 連載

*記名による連載記事

G 特集

*特集企画

H その他

*上記に当てはまらない記事

I 写真

*写真

J 図版

*漫画作品など掲載図版

K 広告

*広告

カット：

*当該記事に対するカットの有無

掲載ページ：

*当該コンテンツの掲載ページ

備考：

3. 会報基礎資料作成

今後の写真資料調査などでの調査の便宜を図るため、調査した会報複本の発行年月日と協会年表（兎ビル移転やちば理事長就任など一部情報を追加）をマージした今後の調査のための会報発行年表を作成した。

第7章 作成したデータベースの公開について

幸森軍也

本事業で製作されたデジタル複製物およびデータベースの利用について、次の2つの利用方法に関して理事会で検討をしなければならず、諮った。

2つの利用方法とは一つはメディア芸術データベースとの統合であり、もう一つは協会自身での利用である。協会は公益社団法人であり、原則として公共利用に制限を設けるべきではないものの、対応事務局員の業務増加や著作権法その他関係法上の問題もあり、一般に広く無制限に公開するわけにもいかない。

このためそれぞれの公開方法に関して理事会で検討。

上記ケース分けをし、関係法についての注意書きをしたレジュメを作成。出席理事に配布して自由に意見を述べてもらい、実務を担当する事務局の意見も斟酌して、それぞれの公開方向を決める。

現時点ではメディア芸術データベースに統合する時期、方法は不明であり、また協会 web サイトに追加するとしてもサイトの改造が必要で短期間にはできない。理事会の決定にしたがって適切な時期、方法で公開を図る予定である。

以下、理事会に報告する時のために作成した資料

■データベース公開について<理事会報告・決定事案>

27年度、28年度で文化庁メディア芸術アーカイブ推進支援事業にて次の調査とデータベース構築を行った。

- (1)協会蔵書の調査・データベース作成
- (2)協会所蔵の漫画展覧会ポスターのデジタル化・データベース作成
- (3)イベント・授賞式等の写真調査^{【注1】}
- (4)協会報のデジタル化・データベース作成

これはもともと文化庁「メディア芸術データベース」とマッチング、追加の目的で補助金が交付されていたため、また協会の公益性のため、データベースの公表がいずれ必要となってくる。ただ、公表方法、内容について強制されないため、これらは組織の決定に委ねられている。

公表については(イ)文化庁による公開と(ロ)協会での利用の2種類がある。

(イ)文化庁による公表とは、メディア芸術データベースとの統合を意味する。

(ロ)協会による利用は、協会のホームページにデータベースの項目を追加して閲覧できるようにする他、展覧会、会報への掲載など。

現在作成しているデータベースは(1)(2)の 2 つであるものの、(3)と(4)についてもいずれ検討が必要なため現時点で方向性を決めておきたい。

公表に関して文字データである書名や作者名を公開しても問題ないとは考えられがちである。ところが、今回の調査で判明したことは、協会にしかない書籍、冊子、ポスター等も大量にあり、これを公表することで研究者や博物館らから協会へ問い合わせ、閲覧、貸し出し等の依頼が寄せられる可能性がある。たとえ頻繁に問い合わせがなかったとしても業務が増え、貸出先の利用方法について貸出先の組織概要、貸出先の施設の管理状況、商業利用可否かなどそれぞれ判断を下さなければならず煩雑である。協会に来訪されても閲覧スペースもない。

そのため、データベース公表の可否、公表するとなれば範囲を決定しておく必要がある。公開方法について次の3つの方法がある。(イ)と(ロ)の両方について決定したい。

(A)情報のすべてを一般に公表

(B)すべて公表をしない

(C)情報のすべてを一関係者^{【注2】}にのみ公表

【注1】写真データは協会所蔵のものと、協会員や関係者から借り受けたものの2種類がある。

写真の著作権は撮影者に帰属する。

写真についてはパーティや授賞式など公共性のあるものは肖像権は発生しない。プライベートなものは肖像権有り(被写体の許諾が必要)。

【注2】関係者とは(イ)の場合はデータベース関係者、(ロ)の場合は協会員を指す。

【注3】文字データベース公表については著作権法上の問題は発生しない。

ポスターやチラシの画像を Web で公表する際には著作権者の公衆送信権許諾が必要。

協会報も web 公開は著作権者の公衆送信権許諾が原則として必要。また会報に掲載されている個人情報にも注意を払う必要がある(マスキングなどの処理が必要)。

第8章 今後の展望の課題

小田切博

本年度の本事業においては、昨年度から継続する倉庫内書籍の書誌データ採取作業、ポスタースキャン作業に加え、写真資料のデジタル化とそのデータ採取、そこから敷衍するかたちで会報の調査をおこなった。

まず継続しておこなっている書籍資料の書誌データ採取に関しては別章でも触れられているが、順調にデータ登録作業が進行し、ポスターのスキャン作業は終了した。

この部分に関しては昨年度同様に当初の想定通り問題なく作業が進められたといえ、協会事務局をはじめ関係者各位の努力とご協力に最初に感謝しておきたい。

また、データ登録に関しては、昨年度本事業報告書において「今後の課題」として挙げた「メディア芸術データベースとの連携」についてデータベース登録アカウント発行の目的が立ち、来期以降メディア芸術データベースとの具体的な連携について検討できるようになったのも好材料であるといえる。

来期以降はこれまで採取した書誌データのデータベースでの公開方法も含めた事業展開を検討することになると思われるため、本協会関係者にはより一層のご助力、ご協力をお願いしたい。

次いで新規におこなった写真資料のデジタル化とデータ採取、会報調査についてだが、本年度の本事業においてはいずれも本調査の手順を検討するための予備調査、テストケースという位置づけでおこなっている。

写真資料のデジタル化はフィルム、紙焼きを含めた協会、あるいは関係者所蔵の写真資料の散逸、劣化を防ぐことを主要な動機とするものだが、本事業においてはデジタル化と同時に写真、被写体、撮影者についての情報を当該写真資料から採取し、写真画像と合わせたデータベースを構築することを想定している。

作品としての写真や報道写真、あるいは公的機関の記録写真などはデータベース化されているものもある程度存在しているが、特定の職業団体やその関係者による写真資料のデータベースは現在のところあまり見られないものであり、メディア芸術データベースにも対応する項目は存在しないため、本年度本事業においては写真資料のメタデータの仕様作成や調査手順の検討といった実際のデータ採取をおこなう前段階の作業を主としておこなった。

本事業の写真調査の対象資料は芸術写真や報道写真ではないため、データ採取の目的は写真撮影された人物や催事等の情報の採取、特定がメインであり、これらの情報は最終的には当該イベントの参加者、関係者からの聞き取り調査によってしか確認できないものが多いと思われる。

協会発足時を知る関係者が少なくなりつつある現状も踏まえ、写真調査に関してはオーラルヒストリー採取的な意味も含めて関係者への聞き取り調査をおこなうことを目的のひとつとし、次年度の写真資料調査においては関係者へ実際に聞き取り調査までを実施することを具体的な目標として設定した。

この写真調査は本年度本事業開始当初より予定されていたものだが、最後の会報調査は写真資料調査の手順を検討する中で強くその必要性が認識された結果おこなわれたもので、本事業開始時の予定にはなく、急遽おこなったものである。

以前より打ち合わせの席などで本事業メンバーのあいだで会報バックナンバーのデジタル化の必要性は話題として出てはいたが、本年度試験的に調査を実施したのは写真調査のテストケースとしておこなった「漫画 100 年展」に関する写真プリントの調査において当該イベントに関する情報ソースとしての会報の有用性が強く認識されたためだ。

「漫画 100 年展」は日本漫画家協会主催による第一回協会展であり、戦後マンガ史上でも無視できないトピックのはずだが、「一枚ものの書き下ろし作品中心のデパートでの作品展示」というイベントとしての性格のためか、現在ではこの展示に関する情報はインターネット上にもほとんど存在しておらず、本年度の調査では催事の内容の把握については会報記載の情報に全面的に依存することになった。

イベント自体が本協会によって主催されるものであるため、もっとも信頼性の高い情報ソースが本協会会報であること自体は不思議ではないが、会報にはこうした「協会にしかない情報」が多く含まれているため、会報の電子化とメタデータ採取による参照利便性、検索性の向上は今後の本事業全体での調査の効率化の面でより優先的に進めるべきテーマではないかとも思われる。

会報調査は本年度の調査としては当初予定されていなかった作業であることもあり、スキャン作業のための会報複本の確認とメタデータ仕様の試案作成までしかおこなっていないが、次年度以降はスキャン作業の実施とデータ仕様の確定、データ採取作業の実施を目指すことになる。

昨年度本事業報告書でも述べたように、本事業では日本漫画家協会という団体の活動全体の歴史化、アーカイブ化を事業実施の意義、目的のひとつと考えている。

明治期以降、西欧文化を輸入するために制度として設定された「美術」や「文学」といった概念とは異なり、大衆的に消費されてきた文化、風俗である「漫画／マンガ／まんが」には長らくその定義に関する厳密な議論が存在せず、その言葉が指示する対象も曖昧なままその含意が移り変わってきた経緯を持つ。

このため、マンガに関する専門研究者の学会である「日本マンガ学会」設立以降も、研究者を含めたマンガの読者、受け手のあいだではしばしば相互のマンガ理解、マンガ観の違いからコンフリクトが起こり、ディスコミュニケーションを生じている。

たとえば、ある世代以上のひとたちにとってはテレビアニメーションやアニメーション映画は「テレビまんが」、「まんが映画」であり、現在一般化しているような「マンガ」と「アニメ」の使い分け自体そうしたひとたちにとっては奇妙な（場合によっては了解不可能な）事象として見えているのであり、こうした層を単に「無理解なひとたち」として議論から締め出そうとするのならそれはおかしい話ではないかと思われる。

これも昨年度報告書で述べたことだが、そうした状況がある中で「マンガ家」の職業団体として（結果的に）多様なマンガ観を持った作家を受け入れてきた本協会の存在は「日本マンガ史」を学術的に研究するうえでも非常に重要なものである。

本年度は予備調査的な作業が多かった本事業だが、そうした本協会の存在自体のマンガ史的意義性を積極的にアピールする意味でも、メディア芸術データベースとの連携の道筋が見えてきたこともあり、次年度以降は公開を前提としてより具体的な採取データの活用をイメージした事業展開が求められてくるだろう。

半世紀前の【漫画100年展資料】再発見

——マンガ宇宙のビッグバン観測記録となるか？——

公益社団法人日本漫画家協会理事

牧野圭一

2017年2月22日（水）4.55p.m.～記

1964年、成立したばかりの「日本漫画家協会」最初の大型展覧会企画が、企画書や全作品と共に、完全な形で保存されていたということ自体、驚きです。それも、市町村合併前の「大宮市立漫画会館」＝「北澤楽天記念館」の収蔵庫として設置された、「さいたま市ノースプラザ内＝ユーモアセンター」の関連施設が有ったのことで知り、現・協会企画担当者としての喜びもひとしおでありました。

大宮市名誉市民第一号でもあった、北澤楽天・盆栽町の画室と作品が市に寄贈され、市民漫画館となったのが1966年ですから、漫画家協会50年の発展と、大宮市→さいたま市の文化行政とが、見事に軌を一にしていたことも、幸運と言うしかありません。

何より、立派な収蔵庫に保管された「100年展」の作品の質の高さは特筆すべきことです。初代協会理事長・近藤日出造氏の指揮のもと、やなせたかし、手塚治虫氏等が、若手プロデューサーとして、活躍した記録もあり、参加メンバー相互の人間関係や所属団体、表現ジャンルの壁さえ超えて、瞬時の輝きを放った瞬間の、貴重な記録——。

これらの諸条件が半世紀の歳月を経て、「サブカルチャー」の評価に甘んじていた日本の「漫画文化」が、「クールジャパン」の中核文化と認知されて行くプロセスを、保存された作品群が雄弁に物語っています。

しかし、基本的に「紙」に描かれ、印刷されてマスコミに開示されたあとは、長期の保存を前提には制作されて来なかった、——と言うのがこれまでのマンガ文化。現時点で「アーカイブ保存」という計画は、だからこそ、まことに意義深いものと考えます。

「社会を映し出す鏡」として、福沢諭吉が北澤楽天に託し、夏目漱石が岡本一平に望んだ強力な表現・伝達手段は＝漫画誕生＝のタイトルで今、女性監督の手に拠って映画化されようとしています。（さいたま市・北澤楽天顕彰会）

【日本漫画家協会「漫画100年展」資料再発見⇒アーカイブ化】は、後から振り返ってみると、☞「アニメ」☞「アニソン」☞☞「フィギュア」☞☞☞「ユルキャラ」☞☞☞☞「コスプレ」等の呼称で、世界中に☞爆発的に拡大して行く日本漫画文化のエネルギーと、多様性を象徴する☞☞☞☞【マンガ宇宙ビッグバン観測記録】であった！ということになるかもしれません。

公益社団法人日本漫画家協会理事・漫画家

付録

1. 書籍データサンプル

番号	フセン	棚	単行本/雑誌/冊子	マンガ単行本名	巻	責任表示	出版者名	単行本レベル(サブレベル)	備考	価格	館独自の備考
00001	a00001A	a	A	新勉強まんが	1	秋玲二	毎日新聞社		箱付き3冊組のうち の1冊	950円	サインあり
00002	a00002A	a	A	新勉強まんが	2	秋玲二	毎日新聞社		箱付き3冊組のうち の1冊	950円	
00003	a00003A	a	A	新勉強まんが	3	秋玲二	毎日新聞社		箱付き3冊組のうち の1冊	950円	
00004	a00004A	a	A	勉強マンガ	1	秋玲二	毎日新聞社		ハードカバー	850円	
00005	a00005A	a	A	勉強マンガ	2	秋玲二	毎日新聞社		ハードカバー	850円	
00006	a00006A	a	A	勉強マンガ	3	秋玲二	毎日新聞社		ハードカバー	850円	
00007	a00007A	a	A	勉強マンガ	4	秋玲二	毎日新聞社		ハードカバー	850円	
00008	a00008A	a	A	勉強マンガ	5	秋玲二	毎日新聞社		ハードカバー	850円	
00009	a00009A	a	A	よっちゃん・あつ 子ちゃんの勉強 まんが	1	秋玲二	あゆみ出版		ハードカバー	1300円+税	サインあり
00010	a00010A	a	A	よっちゃん・あつ 子ちゃんの勉強 まんが	2	秋玲二	あゆみ出版		ハードカバー	1300円+税	サインあり
00011	a00011A	a	A	社会科まんがが日 本のんびり旅行	4	秋玲二	さ・え・ら書房			850円	
00012	a00012A	a	A	社会科まんがが日 本のんびり旅行	6	秋玲二	さ・え・ら書房			850円	
00013	a00013A	a	A	社会科まんがが日 本のんびり旅行	8	秋玲二	さ・え・ら書房			850円	
00014	a00014A	a	A	あまんじやくが やってきた		[作]いわま まりこ / [絵]茨田茂 平	岩崎書店		ハードカバー	880円	
00015	a00015A	a	A	夢どろぼうをお いかけろ		[作]いわま まりこ / [絵]茨田茂 平	岩崎書店		ハードカバー	880円	
00016	a00016A	a	A	駅前のギター弾 き		[文]神津良 子 / [絵] 上原ゆう子	郷土出版	おとなと子ど ものための童 話絵本	ハードカバー	1600円+税	
00017	a00017A	a	A	桃の花が咲い たら		[文]神津良 子 / [絵] 上原ゆう子	郷土出版	おとなと子ど ものための童 話絵本	ハードカバー	1600円+税	
00018	a00018A	a	A	灰色猫のひみ つ		[文]神津良 子 / [絵] 上原ゆう子	郷土出版	おとなと子ど ものための童 話絵本	ハードカバー	1600円+税	
00019	a00019A	a	A	イソップものが たり		[文]大石真 / [絵]宇 野文雄	ポプラ社		ハードカバー	750円	
00020	a00020A	a	A	心をみがくこと ば論語		[著]八木章 好 / [絵] すずき大和	国土社		ハードカバー	2000円	
00021	a00021A	a	A	時をこえるうた 漢詩		[著]八木章 好 / [絵] すずき大和	国土社		ハードカバー	2000円	
00022	a00022A	a	A	おばけのはなし	1	[文]寺村輝 夫 / [画] ヒサクニヒコ	あかね書房	寺村輝夫の むかし話	ハードカバー	680円	
00023	a00023A	a	A	日本むかしばな し	2	[文]寺村輝 夫 / [画] ヒサクニヒコ	あかね書房	寺村輝夫の むかし話	ハードカバー	680円	
00024	a00024A	a	A	おにのはなし		[文]寺村輝 夫 / [画] ヒサクニヒコ	あかね書房	寺村輝夫の むかし話	ハードカバー	680円	
00025	a00025A	a	A	てんぐのはなし		[文]寺村輝 夫 / [画] ヒサクニヒコ	あかね書房	寺村輝夫の むかし話	ハードカバー	680円	
00026	a00026A	a	A	吉四六さん		[文]寺村輝 夫 / [画] ヒサクニヒコ	あかね書房	寺村輝夫のと んち話	ハードカバー	680円	
00027	a00027A	a	A	河童の妙薬		[文]小沢さと し / [絵] 橋爪まんぶ	白鳥舎		ハードカバー	1000円	献本状付き
00028	a00028A	a	A	怪人ジャガイモ 男 / トンカチ おじさん		長新太	話の詩集		ハードカバー / リバーシブル仕様	750円	サイン入り

*表記凡例:

番号: 通番 フセン: 漫画家協会内資料ID 棚: 棚番号

単行本/雑誌/冊子: メディア芸術データベースでの分類

マンガ単行本名: 書名 巻: 巻数 責任表示: 作者名 出版者名: 出版社名

単行本レベル(サブレベル): 叢書名・レベル名など

備考: データ入力作業上の備考 価格: 価格 館独自の備考: 収蔵館における収蔵物に関する備考

2. 書影データサンプル



*ファイル名表記凡例:

登録ID: 通番5ケタ

ボックスセット: 最初の巻のID - (半角ハイフン) 終わりの巻のID_ (半角アンダーバー) box

付録等同梱のコレクターズエディション: ID_ (半角アンダーバー) a~ (箱含め同梱されたものに任意に付与)

3. ポスターデータサンプル

ファイル名	分類	期間8ケタ	バージョン	名称	場所	大きさ	備考	箇の備考
001-1-19680102A_明治から未来へ漫画100年日本漫画家協会第1回展.tif	1	19680102	A	明治から未来へ漫画100年日本漫画家協会第1回展	西武SSSホール	B1	シルクスクリーン 年は筒から	中敷き2枚あり
001-1-19680201A_明治から未来へ漫画100年日本漫画家協会第1回展.tif	1	19680201	A	明治から未来へ漫画100年日本漫画家協会第1回展	阪神	B1 76.0 x 52.5	シルクスクリーン 年は筒から	
002-1-19680720A_世界まんが博.tif	1	19680720	A	世界まんが博	大阪駅前西梅田広場	B1		
003-1-19680720B_世界まんが博.tif	1	19680720	B	世界まんが博	大阪駅前西梅田広場	B1	B~GはAと図柄が共通で広告が異なる。Bは広告なし12枚	追加でAも1枚あり
003-1-19680720C_世界まんが博.tif	1	19680720	C	世界まんが博	大阪駅前西梅田広場	B1	B~GはAと図柄が共通で広告が異なる。Cはハドソン広告1枚	
003-1-19680720D_世界まんが博.tif	1	19680720	D	世界まんが博	大阪駅前西梅田広場	B1	B~GはAと図柄が共通で広告が異なる。Dは国鉄広告1枚	
003-1-19680720E_世界まんが博.tif	1	19680720	E	世界まんが博	大阪駅前西梅田広場	B1	B~GはAと図柄が共通で広告が異なる。Eは大阪ガス広告2枚	
003-1-19680720F_世界まんが博.tif	1	19680720	F	世界まんが博	大阪駅前西梅田広場	B1	B~GはAと図柄が共通で広告が異なる。Fは関西子供服専門店協会広告1枚	
003-1-19680720G_世界まんが博.tif	1	19680720	G	世界まんが博	大阪駅前西梅田広場	B1	B~GはAと図柄が共通で広告が異なる。Gはカブコン広告1枚	
003-1-19680720H_世界まんが博.tif	1	19680720	H	世界まんが博	大阪駅前西梅田広場	B3 横	Hは国鉄の企画切符発売ポスター	
005-1-19910730A_まんが大博覧会作家500人展.tif	1	19910730	A	まんが大博覧会 作家500人展	池袋サンシャインシ	B2	AとBは図柄が共通 3枚	
005-1-19910730B_まんが大博覧会作家500人展.tif	1	19910730	B	まんが大博覧会 作家500人展	池袋サンシャインシ	B1	AとBは図柄が共通 4枚	
005-3-19910801A_KURAKURA! KAMAKURA 1991 Summer 第3回ビーチ・カーニバル.tif	3	19910801	A	KURAKURA! KAMAKURA 1991 Summer 第3回ビーチ・カーニバル	鎌倉(村木座)	B1	3枚	
006-1-1986XXXXA_Contemporary Japan in the Drawings of Japanese Cartoonists.tif	1	1986XXXX	A	Contemporary Japan in the Drawings of Japanese Cartoonists	ポーランド	B1 93.0 x 66.8 横		
007-1-19890325A_YES'89横浜博覧会告知.tif	1	19890325	A	YES'89 横浜博覧会 告知	横浜	B1	日付は横浜博覧会の開催予定日。左半分はユニホームデザインの公募告知がある。	
007-1-19890325B_YES'89横浜博覧会.tif	1	19890325	B	YES'89 横浜博覧会	みなとみらい21地	B1		
007-1-19890325C_YES'89横浜博覧会.tif	1	19890325	C	YES'89 横浜博覧会	みなとみらい21地	B1		
008-1-19910730C_まんが大博覧会作家500人展.tif	1	19910730	C	まんが大博覧会 作家500人展	池袋サンシャインシ	B2	AやBとは図柄が異なり、NTTの広告が入る。	
008-3-19911101A_第3回全国生涯学習フェスティバルまなびピア'91 in OITA.tif	3	19911101	A	第3回全国生涯学習フェスティバル まなびピア'91 in OITA	高知ちばさんセンター(大分県の各地)	B2		
008-3-19920812A_第1回全国高等学校漫画選手権大会まんが甲子園.tif	3	19920812	A	第1回全国高等学校漫画選手権大会 まんが甲子園	高知ちばさんセンター	B2		
009-3-19890803A_UkiUki! KAMAKURA 1989 Summer '89ビーチ・カーニバル.tif	3	19890803	A	UkiUki! KAMAKURA 1989 Summer '89ビーチ・カーニバル	鎌倉(村木座)	B1		
010-3-19900802A_SuiSui! KAMAKURA 1990 Summer かまくらビーチ・カーニバル.tif	3	19900802	A	SuiSui! KAMAKURA 1990 Summer かまくらビーチ・カーニバル	鎌倉(村木座)	B1		

*表記凡例:

ファイル名: スキャンデータファイル名

分類: 1 展示企画 2 施設告知 3 展示以外のイベント 4 カレンダー 5 映画ポスター
6 公募ポスター 7 アートポスター 8 その他

期間8ケタ: 年4ケタ+月2ケタ+日2ケタ バージョン: 同一催事ポスターのバリエーション表示 A~

名称: ポスター内容 場所: 開催地 大きさ: サイズ表記 備考: ポスターに関する備考

箇の備考: ポスターケース記載備考

4. ポスターデータサンプル



*ポスターファイル名仕様

筒番号: 001~ ポスター分類符号: 1~8 開催年月日: 開催年(西暦)4桁+イベント開始日4桁
 バージョン: A~ イベント名等文字要素

4. (2) 写真調査 聞き取り用写真



RK-001-0001-xxxxxxx.tif



RK-001-0002-xxxxxxx.tif



RK-001-0043-1968xxxx.tif

聞き取り用手持ち写真資料
故改田昌直氏のご子息・改田宏氏から借り受けた写真

4. (3) 写真調査 資料「漫画 100 年」展 概要 (漫画家協会会報 12 号～15 号より)

- 名称：《明治から未来へ 漫画 100 年 —日本漫画家協会第 1 回展—》
- 開催時期：昭和 43 年（1968 年）1 月 2 日（火）～16 日（火）
- 場所：西武デパート 7 階（東京）
- 主催：日本漫画家協会、読売新聞社
- 負担：会場設備費 西武デパート
 宣伝費 読売新聞社
 運営諸費用 日本漫画家協会
- 全体の予算規模：不明
協会の負担分は通常の予算を使わず、出品者の負担金だけで賄う。
- 入場料：無料
- 出品者負担：1 人 1 点 1,000 円
「出品料」ではなく、パネル代等の実費分として徴収。
- 展示テーマ：「明治百年と未来」
このテーマに即して協会が各出品者に描く内容を指定。
「作品の時代的偏重と重複を避けるため、当然、どなたに何を描いていただくか、をきめなければなりません。（略）僭越ながら、理事会におまかせ願うことにいたしました。」近藤日出造）
- 絵のサイズ：B 全紙の 4 つ切り（515mm x 364mm タテとヨコは自由）
- 総展示数：（立体作品も含めて）359 点
- 入場者数：1 日平均 1 万 1 千人。2 週間で 15 万。
昭和 40 年以來の西武部デパートのベスト 3 に入る。ただし、数字は入口のみのカウントで、出口からも入れたため、実際はもっと多いと推測される。
- その他
 - ▶ 展示の運営は漫画家が担当。
（例：手塚治虫＝企画部会会長（総指揮）、やなせ・たかし＝チーフ・プロデューサー、等々）
全員今回の展示の仕事に対する報酬は無し。ただし、手伝ったくれた手塚プロの人には協会から記念品を贈呈。
 - ▶ コーナー毎にどのような展示にするか決めるのも（展示専門業者ではなく）漫画家が担当。
（例：「明治 100 年漫画史」コーナーの担当は近藤日出造。）
 - ▶ 出品作品は展覧会終了後、特別の指定を受けない限り協会に帰属し、大宮市の漫画会館に一括収蔵。ただし、返還希望者は出品の際に返送料を添えてあらかじめ申し

出る。

- ▶ 作品はすべてカラーフィルムに複写。(その理由は、資料として残し漫画家協会が100年後に「明治200年」展示を開催しやすいようにするため、海外の漫画展からの出品要請にこたえて即座に航空便で貸し出しに応じることができるようにするため、等。)
- ▶ 漫画家デザインによるグッズの会場販売。
企画案：紙ナフキン&ふきんセット、絵はがき、手ぬぐい、のれん、マッチ、タコ(白地のミニチュア・タコに絵を描き入れる)
- ▶ 出品作品の展示後の使用については、協会への一括寄付の形で協会が処理する。(「数枚選んでレットル風の小型カード等に印刷し特殊目的に利用」したいとの照会があった、との記述あり。)
- ▶ 大阪・阪神デパートで2月1日から巡回展開始。

【参考資料】

『漫画家協会会報』12号～15号

『週刊漫画TIMES』1968年1/27号

「編集後記コーナー 漫画界短信」に触れられている。

『週刊漫画サンデー』1968年2/7号

「近藤日出造・杉浦幸雄の歩く座談会430回」冒頭の雑談で触れられている。

『読売新聞』1968年1月1日

西武百貨店の広告の中に「マンガ100年展」の開催期間の記述がある。

『COM』1968年2月号

「まんがジャーナル」コーナーに「漫画100年展」レポート

『COM』1968年3月号

「まんがジャーナル」コーナーに「漫画100年展」レポート

執筆者および本事業担当者 略歴

幸森 軍也（こうもり いくや）

1961 年生まれ。関西大学商学部卒業。作家。マンガ研究者。現在、大阪芸術大学客員教授、専修大学客員教授。著書に『そして、またひとり…』『あなたの待つ場所』（角川ホラー文庫）『マンガ大戦争』『ゼロの肖像』（講談社）など。

小田切博（おだぎり ひろし）

1968 年、横浜生まれ。フリーランスライター、アメリカンコミックス研究家。松陰大学非常勤講師。著書『誰もが表現できる時代のクリエイターたち』『戦争はいかに「マンガ」を変えるか』『キャラクターとは何か』。共編著『アメリカンコミックス最前線』（小野耕世共編）。

原 正人（はら まさと）

1974 年生まれ。学習院大学大学院人文科学研究科フランス文学専攻博士前期課程修了。フランスのマンガ“バンド・デシネ”翻訳者。訳書に『青い葉』（青土社）、バステリアン・ヴィヴェス『ポリーナ』（小学館集英社プロダクション）、マリー・ポムピュイ、ファビアン・ヴェルマン作、ケラスコエット画『かわいい闇』（河出書房新社）など。『はじめての人のためのバンド・デシネ徹底ガイド』（玄光社）監修。

池川 佳宏（いけがわ よしひろ）

株)寿限無 文化庁メディア芸術デジタルアーカイブ事業マンガ分野コーディネーター(2011～2014 年)。出版社・IT 企業勤務後、(株)コンテンツワークスにて、講談社・小学館などと提携する絶版コミックオンデマンド復刊サービス「コミックパーク」の運営を担当し、8000 冊のマンガを復刊。2011 年度より、(株)寿限無にて「文化庁メディア芸術デジタルアーカイブ事業」のマンガ分野コーディネーターを担当し、マンガ所蔵機関が持つマンガのデータベースを作成している。

椎名 ゆかり（しいな ゆかり）

アメリカ・オハイオ州ボーリング・グリーン州立大学大学院ポピュラーカルチャー専攻修士課程修了。英語圏のコミックス翻訳者。平成 23 年度～25 年度、文化庁芸術文化課研究補佐員。訳書に『ファン・ホームーある家族の悲喜劇ー』、『ブラック・ホール』『デイトリッパー』（以上、小学館集英社プロダクション）他。東京芸術大学非常勤講師。